

『次代に引き継ぐ自然を生かした交流人口創出のみち整備計画』事後評価会議における意見及び対応（修正）について

※意見等への対応（修正内容）欄中のアンダーラインは修正箇所

No	意見等箇所	意見等概要	意見等への対応（修正内容）
1.	資料 2-2 ③事業の進捗状況 特別措置を適用して行う事業 (道整備交付金活用事業)	林道の整備の関係で、資料 2-2 の「事業の進捗状況に関する評価」について、間伐の実施面積が増加したということしか書かれていない。観光地へのアクセス路線としての道路整備の効果については書かなくて良いのか。	意見を踏まえ、「事業の進捗状況に関する評価」に以下のとおり観光地へのアクセス路線としての道路整備の効果を追加 「 <u>観光面においても、観光地へのアクセス改善が図られるとともに、整備した林道を活用して自転車競技大会を開催することもでき、成果を出すことができた。</u> 」
2.	資料 2-2 ③事業の進捗状況 その他の事業	社会資本整備総合交付金事業（佐久市中佐都）について、「事業の進捗状況に関する評価」に「佐久市中佐都バイパスの開通」と書かれているが、まだ全線開通していないので、「一部開通」という表現の方が適切だと思う。また、「取組内容」の「高速交通網へのアクセス道路となる県道塩名田佐久線の整備」という表現について、「県道塩名田佐久線」の後に「(バイパス)」と入れた方が適切だと思う。	意見のとおり「事業の進捗状況に関する評価」及び「取組内容」を修正
3.	資料 2-2 ①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況 【指標 1】 アクセス道路の改良による交流人口の創出	クラインガルテン 1 契約者あたり利用回数の目標について、長期滞在者がいるということで、逆にこの指標としては、実績値が減ってしまっているように思う。長期滞在の方は長期滞在の方で、ずっとそこに滞在している訳だから、交流人口の増加としては立派にカウントできると思うので、増えている部分を見せることができればより良いと思う。	意見を踏まえ、「最終目標値の実現状況に関する評価」を以下のとおり修正 「 <u>クラインガルテンの利用回数については、市道整備により交通アクセスは改善したが、利用者によっては長期滞在している方もおり、全体的には目標値を下回ってしまった。なお、利用者全体の年間延べ滞在日数については、計画策定前の平成 21 年度は 1,844 日であったが、計画期間中の 6 年間の平均は 1,924.5 日と 1 年当たり約 80 日増加しており、交流人口の増加に繋がっているものと考えられる。</u> 」
4.	資料 2-2 ①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況 【指標 1】 アクセス道路の改良による交流人口の創出	「りんごオーナー制度」に関する指標について、「最終目標値の実現状況に関する評価」の中に、平成 26 年度までの途中経過（契約本数及び農業体験者数が伸びている実績）を追加した方が良い。	意見を踏まえ、「最終目標値の実現状況に関する評価」を以下のとおり修正 「 <u>りんごオーナー制度の契約本数及び農作業体験参加者数については、計画期間中にりんごの木の改植を行い、受け入れ可能本数が減少してしまったため、目標値を下回ってしまった。なお、改植がいったん落ち着いた平成 26 年度は、契約本数が 158 本と最終目標値を上回っており、農業体験参加者数についても 948 人と増加にしている。なお、農場の一部が中部横断自動車道用地となり、工事着手されたことに伴い、平成 27 年度に再度改植を行ったが、平成 27 年度で改植がほぼ終了し、十分な受け入れ態勢が整ったため、今後は、道路整備によるアクセス改善の効果を生かすとともに、友好都市等への PR 強化により、契約本数及び農業体験参加者数の増加を図っていきたい。</u> 」
5.	資料 2-2 ①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況 【指標 3】 農産物の流通条件の改善	「最終目標値の実現状況に関する評価」の小海区間の記載内容について、「広域農道の整備効果により」とあるが、広域農道だけではなく、町道小倉原線も加えた方が良い。	意見のとおり「最終目標値の実現状況に関する評価」を修正
6.	資料 2-2 ⑥計画全体の総合評価	「広域農道については、」という部分について、「及び町道」と加えた方が良い。	意見のとおり「計画全体の総合評価」を修正
7.	資料 2-2 ③事業の進捗状況 ⑥計画全体の総合評価	「③事業の進捗状況」の「事業の進捗状況に関する評価」及び「⑥計画全体の総合評価」の広域農道に関する記載について「現道利用区間」という表現はわかりづらいので、「未整備区間」という表現に修正願いたい。	意見のとおり修正